



六郷 ろくごう

六郷小学校

H30. 5. 11

No. 6

子ども達の手による運動会

運動会もいよいよ日曜日に迫ってきました。今回の運動会は、昨年にも増して「子ども達が主体の、子ども達の手による運動会」を目指しています。

例年ですと4月に運動会を実施するために、計画を早めに出さなければならず、結局は例年通りの内容になってしまいます。しかし、今年度は5月実施としたので、これまでの運動会を見直して改善する余裕が生まれました。そこで、校長や教頭、担当者が集って何度も話し合いを行って、今年度の新たな運動会を提案できました。

自分達で進める応援練習

「子ども達の手による運動会」の最も重要な部分は、色ごとの応援練習です。今年度は、できるだけ自分たちで練習を進めることを目標にがんばっています。昨年度も、後半は大分6年生が力を発揮してくれましたが、今回はスタートからそういった形を取りたいと願っていました。

5月1日に行われた1回目の練習を見に行きました。すると驚いたことに、どの色も6年生が計画的に練習を進めていました。これは、事前に練習のシナリオを考えてきたからできたことでした。シナリオを考えることで、6年生の意欲も違ってきます。リーダーが積極的に進めることは無論、他のメンバーからの指示もどんどん出ます。このように、予想以上に6年生の主体性が見られ、とてもよいスタートが切れました。



シナリオを確認しながら



6年生が応援の仕方の手本となって



どうするか相談しながら

新しい種目を取り入れて

保護者の学校評価にも「運動会の種目がマンネリではないか」というご意見をいただき、今回は次のように新種目を取り入れました。

□ 幼児による「お菓子ひろい」 □ 老人クラブ・祖父母による玉入れ □ 全員参加色別リレー

今回は「より多くの方が参加できること」をねらって、幼児の種目、老人クラブ・祖父母の種目を取り入れました。老人クラブに関しては、コミュニティスクールで関わってくださっている、六郷老人クラブ会長・高橋さんから、もし運動会で関われるなら声をかけて集めるからとおっしゃっていただき、それならばと「玉入れ」を企画しました。当日は、その種目に合わせて10人程度の方が参加くださる予定です。

「色別リレー」は、これまで各色から選抜メンバーを出して競技していました。今回は思い切って全員が走って競い合う「全員参加のリレー」に変更することになりました。全員が出場するので、一人ひとりのモチベーションが違ってきます。単に代表選手を応援する立場から、自分も参加する種目が変わることは、一人ひとりの子ども達にとって、大きな意味があると思います。



たて割グループを活用して

実は今回、「たて割グループ」ごとに色を決めました。そうすることで、たて割のつながりがぐっと深まりますし、練習にも集中してがんばれるようになると考えたからです。毎年忙しい春に行っている運動会、今回は十分に話し合っ、いろいろな改善案を提案でき、本番が楽しみです。

